

人権ポスター 標語展

…心に留めておきたい…
…作品からのメッセージ…

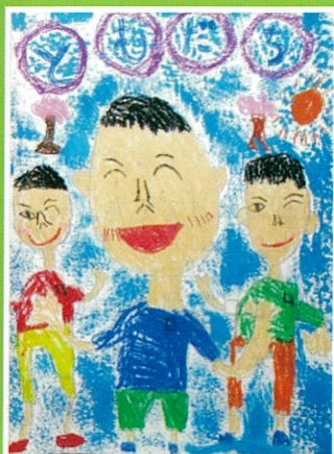
令和5年12月2日(土)～10日(日)に玉島北公民館で
人権ポスター・標語展を開催し、ポスター56点、標語40点
を展示しました。その中から、選定された作品を紹介します。
素敵な作品をありがとうございました。



長尾小1年 又野 愛珠 さん



長尾小6年 湯浅 碧 さん



富田小1年 川元 健瑠 さん



富田小6年 仲原 明希 さん



穂井田小1年 井上 結菜 さん



穂井田小4年 妹尾 真太郎 さん

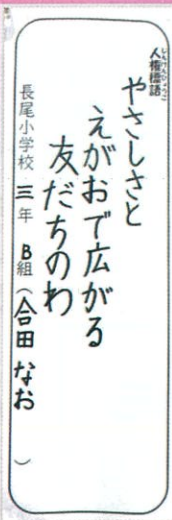


玉島北中3年 内藤 知遥 さん

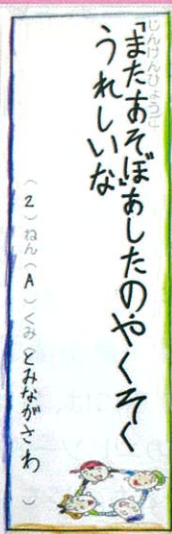


玉島北中3年 松川 依鈴 さん

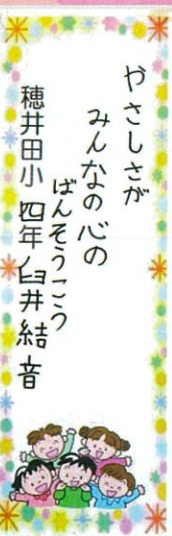
長尾小 3年 合田 菜緒 さん



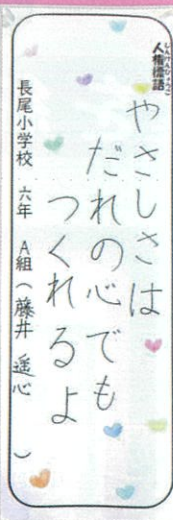
富田小 2年 富永 紗羽 さん



穂井田小 4年 臼井 結音 さん



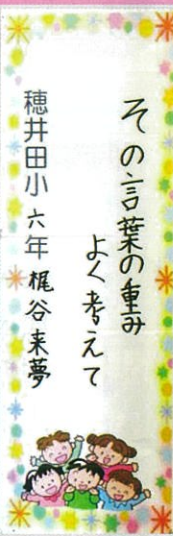
長尾小 6年 藤井 遥心 さん



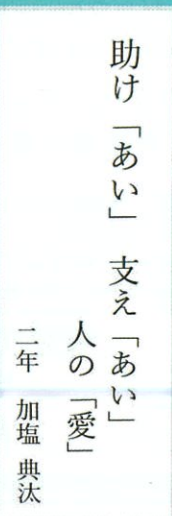
富田小 6年 石井 那奈 さん



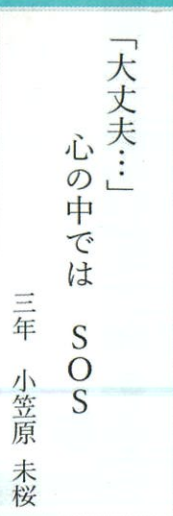
穂井田小 6年 梶谷 来夢 さん



玉島北中 2年 加塩 典汰 さん



玉島北中 3年 小笠原 未桜 さん



人権だより 第61号

ふれあい

発行 令和6年2月
玉島北中学校区人権学習推進委員会
事務局 倉敷市玉島北公民館
倉敷市玉島八島 1773-10
電話・FAX(086)526-5315

ホロコースト記念館(福山)・鞆の浦 玉島地区4中学校区合同研修視察 ～平和について考える～

令和5年9月27日(水)



彼岸も過ぎたというのにまだまだ真夏のような暑さの中、9月27日(水)に玉島地区4中学校区合同研修視察で福山市の「ホロコースト記念館」と「鞆の浦地区」に行きました。

「平和をもたらすために、私には何ができるか」というテーマのもと、ホロコーストの事実を知り、特に子どもたちのすがたを通して平和の大切さについて考えることができました。また、鞆の浦の歴史や文化に触れ、先人の知恵と工夫を学ぶことができました。

「ホロコースト」とは、ギリシャ語で「全てを焼き尽くす」という意味です。ユダヤの人々600万人が命を奪われ、その中には150万人の子どもたちがいたそうです。アンネ・フランクは日記の中で訴えます。「なぜ人間は、お互い仲よく、平和に暮らせないのだろう」と。今またウクライナやパレスチナ・ガザ地区では、同じような愚かなことが起きています。どうすれば平和な世の中になるのか、私たちに何ができるのでしょうか。

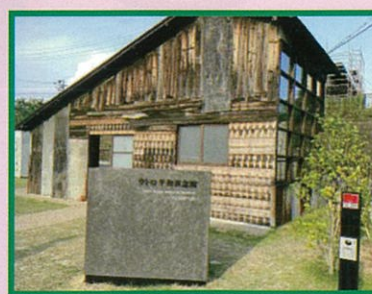
鞆の浦では、朝鮮通信使の迎賓館として使われた「福禅寺対潮楼」から日本第一景勝と言われた景色を堪能しました。鞆の浦は、他にも「いろは丸展示館」をはじめ見所が多くありますので、皆さんもぜひ訪れてみてください。お土産は、保命酒を！

(人権学習推進委員会監査 田邊 一正)



京都フィールドワークに参加して

令和5年9月30日(土)
～10月1日(日)



まだまだ30度以上の日が続く中、9月末日から10月にかけて、倉敷市内の各中学校区より21名の参加者と共に、京都フィールドワークに参加しました。

バスでライフパーク倉敷を出発し、「ウトロ平和祈念館」がメインのコースでした。学芸員の方の説明を受けながら館内を見て回りました。「ウトロ放火事件」の現場も見学しました。ウトロ地区は、日本社会から「置き去りにされた」朝鮮人の集落です。1940年から日本政府が推進した「京都飛行場建設」に集

められた在日朝鮮人労働者の飯場跡に形成されましたが、在日朝鮮人の方々が協力して、人々の尊厳と生活を守ってきた歴史の地域です。見学を通して、この祈念館が、戦争から生まれたウトロという地域を守り抜いた人々の姿を通じて、人権と平和の大切さ、共に生きて出会うことのすばらしさを伝えていける場所となってほしいという思いを強くしました。

他にも、「平等院鳳凰堂」「醍醐寺」「京都市学校歴史博物館」を見学しました。参加者同士で人権について意見交換をしながら親交も深めることができました。初めて参加しましたが、大変有意義な研修になりました。

(人権学習推進委員会会長 小坂 秀三)



人権だより「ふれあい」は、各地区の社会福祉協議会・愛育委員会をはじめとした地域の方々のご協力により、玉島北中学校区全戸に配付しています。

人権教育の取組を紹介します



長尾幼稚園



6月3日の土曜参観日に、PTA 人権教育講演会を行いました。土曜日ということもあり、参加者も多く、うれしいことでした。講師の都築照代先生は、図書館司書でご活躍をされた経歴の持ち主であり、そこでの経験を生かし、「つづきの絵本屋」店主をされております。

講演会は、「絵本で子育て～親子で絵本を楽しもう!～」と題し、先生が絵本を通して、「自分を大切にする」「名前を大切にする」「誰かの立場に立つ」などをねらいとして、絵本の読み聞かせをしてくださいました。

絵本にまつわるいろいろなお話をされた中で、「かみさまからのおくりもの」の絵本では、「我が子を他の子と比べず、マイナスの面をプラスに捉えたと自分自身も生きやすくなるということが印象に残った。」という感想がありました。

また、「すっすっはっはっ こ・きゅ・う」の絵本では「ストレスがたまっていたり緊張したりしていると呼吸が浅く短くなるので、そんな時はゆっくり深呼吸したい」という感想がありました。

その他に7種類の絵本を紹介され、どのお話も参考になる良い講演会を聞くことができました。



富田幼稚園



富田幼稚園では今年度、11月1日の参観日にPTA 人権教育講演会を行いました。

講師としてお招きしたのは、小学校の校長を退職されたあと幼稚園園長として幼児教育に携わり、若い保護者の悩みに応えて子育ての支援やアドバイスを続けられている作陽こども園園長の藤木潤子先生です。

先生からは「子育ては親育ち～合言葉は「わくわく・チャレンジ・ドンマイ!!」～」と題して、子どもの「自己肯定感」を育て、親も子も育つ「子育て」についてお話をいただきました。先生の児童教育における豊富なご経験と研究に基づいたお話は、ちょうど4・5歳の子どもの育ちへの対応に不安や戸惑いをもつ保護者に多くの気づきと励ましを与えてくれたと感じています。

また同時に親自身の自己肯定感を高めるワークショップを指導してもらい、参加した母親・父親と一緒に楽しく「子育て」について学ぶひとときとなりました。



穂井田認定こども園



「子どもの人権を守る」ことについて、園内で職員研修を行いました。

大人が「子どもの人権を尊重し、守ることのできる存在」となるには、大人の子どもに対する見方・捉え方(子ども観)が問われます。子どもと関わる大人のあり方が重要であり、「一人ひとりの子どもを尊重し大切に保育をする」とこと

「しっかり目の前の子どもの姿を観て、子どもの言葉に耳を傾ける」という視点をもって子どもと関わることを今年度取り組んできました。

子どもの会話やつぶやきなどの語り合えるツールを使って共有を図っています。互いに観ることで子どもについて話題にし、語り合うことで「子ども理解」につながるのではないかと考え、昨年度から引き続き取り組んできました。

「こどものつぶやき」の取組から、「子どもの姿を意識するようになった」「子どもの言葉にならない行動やしぐさから思いをくみ取れるようになった」「“こんなかわいい姿があったよ”って話したくなる」など職員の声が聞こえ、共感的理解も増えてきたように思います。

保護者の方には、日々の中で子どもの姿を毎日お伝えしていますが、毎月の園だよりでもちょっとした遊びのエピソードやかわいい子どものつぶやきなどを掲載し、紹介しています。

今後も子どもの姿をしっかり「観る・聴く」姿勢を大切に、一人ひとりを認め尊重した関わりをしながら保護者の方とともに子どもの成長を喜び合えたらと思っています。

玉島北公民館

令和5年9月16日(土)、玉島北公民館主催人権教育講演会を開催しました。おかやまアナウンス・ラボ株式会社代表取締役 森田恵子氏をお迎えし、「心なごむ 心彩る『持続可能な』日々のとりくみ」と題して開催しました。玉島北中学校区の住民の方や公民館を利用される方など、たくさんの方が聴講してくださいました。

SDGsについて分かりやすく、具体的にお話ししていただいたことはもちろん、ご自身の経験をもとに、「家じまい」「墓じまい」のお話もしてくださいました。「体験が人を成長させる」…次の世代に何をどんな形で残していくかを考えることができた、有意義な講演会となりました。



◆お母様の着物をアップサイクルした服を着用し講演される、森田恵子氏◆

参加者の感想

・「自分でできること」「自分だからできること」「今の自分ができること」「自分の観点」…長い将来、自分の中で迷ったら、ちょっと先への持続の価値を考え、取り組んでいきたいと思います。

